



<来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位: 億円)

| 日付       | 資金需給予想 |          |          | 主な要因                     | オペ期日         | オペスタート | イベント                                                              |
|----------|--------|----------|----------|--------------------------|--------------|--------|-------------------------------------------------------------------|
|          | 銀行券要因  | 財政等要因    | 資金過不足    |                          |              |        |                                                                   |
| 9/28 (月) | + 800  | + 2,300  | + 3,100  | 国庫短期証券発行償還 (3M)<br>流動性供給 | 国債補完供給 + 500 |        | 日: 日銀金融政策決定会合議事要旨 (7月30・31日分)                                     |
| 9/29 (火) | トン     | ▲ 11,000 | ▲ 11,000 | 各種財政資金の貸付金回収             |              |        | 米: 消費者信頼感指数 (9月)<br>欧: ユーロ圏消費者信頼感指数 (9月)                          |
| 9/30 (水) | + 100  | ▲ 3,000  | ▲ 2,900  | 国債発行 (40年)               | 共通担保 ▲ 8,000 |        | 日: 鉱工業生産 (8月)<br>米: GDP (2Q)<br>: ADP雇用統計 (9月)<br>: PCE価格指数 (8月)  |
| 10/1 (木) | トン     | ▲ 12,000 | ▲ 12,000 | 国債発行償還 (2年)              |              |        | 日: 金融政策決定会合における主な意見 (9月17・18日分)<br>: 日銀短観 (3Q)<br>欧: ユーロ圏失業率 (8月) |
| 10/2 (金) | トン     | ▲ 49,000 | ▲ 49,000 | 法人税、消費税、<br>保険揚げ         |              |        | 日: 失業率 (8月)<br>: 有効求人倍率 (8月)<br>米: 雇用統計 (9月)<br>欧: ユーロ圏CPI (9月)   |

<インターバンク>

日銀当座預金残高は週初、国債償還、利払い等の要因により、前営業日対比7兆9,100億円増加の41兆8,200億円から始まった。その後、25日は41兆7,400億円（速報）で越えた。

無担保コールON物加重平均金利は、18日に金融政策決定会合で政策金利を1.25%に引き上げることが決定されたため、24日に同金利は前営業日対比0.25%上昇し1.227%となり、その後も概ね横ばいであった。

ターム物は1W～3W物1.31%～1.50%のレンジ、1M～3M物1.38%～1.48%のレンジで出合いが見られた。

来週の予定は、国内では10月1日に金融政策決定会合における主な意見（9月17日・18日分）、日銀短観（3Q）の公表、海外では9月30日に米GDP（2Q）、10月2日に米雇用統計（9月）、ユーロ圏CPI（9月）の公表などがある。

【無担保コールレート】

|     | 予想レンジ (%)     |
|-----|---------------|
| O/N | 1.220 ～ 1.228 |
| 1M  | 1.30 ～ 1.45   |
| 2M  | 1.35 ～ 1.45   |
| 3M  | 1.40 ～ 1.50   |
| 6M  | 1.60 ～ 1.75   |

<レボ>

足許GCは17日まで、1.000%～1.005%の狭いレンジでの出会いとなった。政策決定会合2日目となる18日は、1.245%近辺から出会いをはじめ、1.250%近辺まで上昇した。週明け24日以降は1.250%～1.255%の狭いレンジでの出会いとなった。買入れオペや短国の発行の影響もほとんど見られず、水準に変化はなかった。

SC取引は2年484～486回債、5年180～187回債、10年361～372、379～383回債、20年194～197回債、30年87～91回債などに引合いが見られた。

【オープン市場】

|              | 予想レンジ (%) |
|--------------|-----------|
| 現先 (on/1w)   | 1.2台前半    |
| CP 3M (a-1+) | 1.4～1.5台  |

<CP>

今週の入札発行総額は1兆720億円で、週間償還額の9,730億円を上回った。発行残高は、先週末時点の25兆1,381億円から、9月24日時点で25兆3,910億円へと増加した。発行市場では、ゴム製品・電気機器・その他金融業をはじめとする一部の業種で、大型の発行案件が見られた。入札案件の発行レートは、a-1格相当の1か月物で1.2%台後半から1.3%台、3ヶ月物で1.4%台から1.5%台と、幅広い水準での取引が確認された。

来週の償還額は、約3兆6,300億円となっている。発行市場は、期末にかけて一部の企業による有利子負債圧縮を踏まえた発行抑制が想定される。一方で、期明けに伴って資金調達が再開されることから、大型の発行も見込まれる。発行レートについては、9月17・18日の金融政策決定会合にて政策金利が1.0%から1.25%へ引き

<TDB>

25日の3M（第1409回債）の入札は、最高落札利回り1.2709%（前回債1.2292%）、平均落札利回り1.2555%（前回債1.2067%）となった。

来週の入札は10月2日に3Mが予定されている。

本資料は投資環境に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。